

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和8年度）

あんしんケアセンターこてはし台

【今年度目標計画】

	分野	活動名	主な内容	頻度	連携先	センターの役割	重点取組み
1	交流の場づくり	元気会/健康寿命延伸プロジェクト	出張講座・介護予防体操等	2か月に1回	鷹の台自治会 花見川地区部会	後方支援 講師 相談支援	
2	交流の場づくり	喫茶室つどい	出張相談等	毎月	こてはし台地区部会	出張相談	
3	交流の場づくり	ふらっとみ春野	出張相談等	毎月	こてはし台中学校 区地区部会	後方支援 相談支援	
4	交流の場づくり	はつらつ元気体操	体操教室	第2,4月曜日	こてはし台公民館	主催	
5	交流の場づくり	いこいカフェ	出張相談等	毎月	こてはし台地区部会	出張相談	
6	居場所・仲間づくり	ふらっと横戸台	認知症カフェ	毎月	主催者	後方支援	
7	居場所・仲間づくり	〇〇カフェ	認知症カフェ	毎月	こてはし台自治会 オリーブの樹等	主催	
8	居場所・仲間づくり	ほっとひといきカフェ	ケアラズカフェ	年2回	こてはし台自治会 居宅介護支援事業	主催	◎
9	居場所・仲間づくり	サロン笑顔日和	モルボ	年2回	こてはし台自治会 こてはし台地区部	主催	
10	地域での支援体制構築	鷹の台・千代の台地域ケア会議	早期支援が行える体制構築、地域課題等	年4回	自治会・地区部会 民生委員等	主催	◎
11	地域での支援体制構築	ソレイユ鷹の台集会所地域ケア会議	早期支援が行える体制構築、地域課題等	年2回	自治会・地区部会 民生委員等	主催	◎
12	地域での支援体制構築	新鷹第一集会所地域ケア会議	早期支援が行える体制構築、地域課題等	年2回	自治会・地区部会 民生委員等	主催	◎
13	地域での支援体制構築	南・北柏井・芦太山地域ケア会議	早期支援が行える体制構築、地域課題等	年2回	自治会・地区部会 民生委員等	主催	◎
14	地域での支援体制構築	こてはし台・横戸台地域ケア会議	事例を通じて、地域課題等を検討	年2回	自治会・地区部会 民生委員等	主催	◎
15	地域の機関・団体等との連携	シニアリーダーこてはし台	体操教室	毎週	千葉市	後方支援	
16	地域の機関・団体等との連携	シニアサロン	体操教室	月2回	主催者	後方支援	
17	地域の機関・団体等との連携	元気体操	体操教室	月2回	主催者	後方支援	
18	地域の機関・団体等との連携	健康フェスティバル	基本チェックリスト 握力測定	年2回	花見川いきいきブラザ	出張相談	
19	地域の機関・団体等との連携	オリーブフェスティバル	握力測定	年1回	社会福祉法人オリーブの樹	後方支援	
20	学習の場や体験の場の創出	いきいきブラザクリスマスイベント	認知症声かけ訓練 車椅子体験	年2回	花見川いきいきブラザ	後方支援	
21	学習の場や体験の場の創出	歩いてビンゴ	認知症クイズ・声かけ訓練	年1回	柏井地区子供会等	協力	
22	学習の場や体験の場の創出	認知症サポーター養成講座（こてはし台小学校 横戸小学校 柏井高校）	養成講座	各年1回	各学校等	講師	
23	地域福祉情報の発信	あんしんぽかぽか便り	広報誌作成	毎月	あんしんケアセンターこてはし台	あんしんケアセンター花見川と共催	
24	防犯活動	地域防犯パトロール活動	毎年12月 こてはし台（1丁目から6丁目）	年一回	こてはし台自治会	参加	

【担当圏域の地区課題】

【活動方針（総合）】

・花見川区の最北端で八千代市、佐倉市、四街道市、稲毛区と隣接し、戸建住宅が多い地域である。圏域人口の減少（令和元年12月末18239人→令和6年12月末17098人 1141人の減少）、高齢化率の高い地域（令和元年12月36.20%⇒令和6年12月37.4%）となっている。支援者も高齢化が進んでおり、今後の支援体制や社会資源不足への不安がある。 ・こてはし台では、ここ数年で新しい住宅が建ち、住民の入れ替わりが見られる。そのため、65歳以上の人口が減少し全体的に高齢化率が下がっている。対して横戸台は、令和7年12月時点で高齢化率57.50%の地域であり、高齢化率が上昇傾向となっている。 ・み春野については、平成12年に宇那谷町から区画整理されてから20年以上が経過し、現在0歳から14歳の人口は減少している。自治会等の役員は他の地域より年齢層が若く、地域の行事等活発である。現在、圏域内では低い高齢化率（17%～17%）であるが、10年後には、前期高齢者が増え、高齢者数の増加が予測され、買い物、通院等に支障をきたす方が増えると考えられる。	・自治会、民生委員児童委員、行政などの関係機関と連携（地域ケア会議の活用）を図ることで積極的なアウトリーチを行い、地区特性や地域の実情を踏まえたニーズを掘り起こし、地域づくり等に取り組む。 ・生活支援コーディネーターと連携し、介護予防の取り組み（高齢化率が低いみ春野地域等）や自治会等で開催している通いの場等への支援を行う。 ・支援者や家族介護者などに向けた支援の充実、学びの場を提供を行う。
--	---

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和8年度）

あんしんケアセンターにれの木台

【今年度目標計画】

	分野	活動名	主な内容	頻度	連携先	センターの役割	重点取組み
1	学習の場や体験の場の創出	坂道・階段の歩き方講座の開催	体験を含めた講座の開催	年2回程度	社会福祉協議会朝日ヶ丘・畑町部会	共催	◎
2	交流の場づくり	ホットスペース畑	認知症カフェ	月1回	柏木代表	側方支援	
3	交流の場づくり	畑コミサロン+出張相談	居場所、交流、相談	月1回	社会福祉協議会畑町部会	共催、出張相談	◎
4	居場所・仲間づくり	ラジオ体操（センター前）	介護予防、フレイル予防、住民同士のつながり作り支	平日毎日		主催	
5	学習の場や体験の場の創出	健康教室（にれの木台団地会場、西小中台団地会場）	健康維持・介護予防の啓発	月2回		主催	
6	居場所・仲間づくり	SL体操、SL体操連絡会	フレイル予防	月10回程度	シニアリーダー	参加・後方支援	
7	交流の場づくり	地区社協主催カフェ	交流・相談	年1回	社会福祉協議会朝日ヶ丘部会	参加	
8	地域での支援体制構築	地域ケア会議、多職種連携会議	地域課題の発信、共有、解決方法の協議など	年4回程度	花見川区、区内あんしんケアセン	共催	
9	地域での支援体制構築	ケアマネ交流会	交流・研修	年3回程度		主催	
10	地域での支援体制構築	成年後見制度学習会	交流・研修	年1回	区内あんしんケアセンター	共催	
11	地域の機関・団体等との連携	203・204地区民生・児童委員協議会定例会	情報共有・相談	月～四半期に1回	203・204地区民生委員・児童委員協	出席	
12	地域での支援体制構築	支援調整会議	会議出席・プラン検討	年2回	千葉市生活自立・仕事相談センター	出席	
13	人材発掘・育成	運営推進会議	運営推進会議	月3件程度	圏域内7施設	出席	
14	地域福祉情報の発信	出張相談会（健康教室時、畑コミサロン時）	出張相談	月3回	西小中台自治会、畑町地区部会	主催/共催	◎
15	地域福祉情報の発信	区民祭り	事業周知、どこ知る伝言板周知	年1回	圏域内5あんしんケアセンター	共催	
16	地域福祉情報の発信	福祉イベント	事業周知、介護予防普及啓発	年1回	UR、福祉用具事業所、薬局、地域住	共催	
17	地域福祉情報の発信	にれの木台夏祭り	事業周知	年1回	にれの木台自治会	参加	
18	学習の場や体験の場の創出	（再掲）健康教室	介護保険制度やあんしんケアセンター事業の周知	年4回程度		主催	
19	学習の場や体験の場の創出	認知症（キッズ）サポーター養成講座	啓発・研修	年3回	区高齢障害支援課、学校、公民館	講師	
20	防犯活動	（再掲）健康教室（にれの木台団地会場、西小中台団	権利擁護情報等共有	年2回	千葉県警察、千葉市消費生活セン	主催	
21	防犯活動	避難訓練	地震・災害時等の対応の理解	年1回	圏域内自治会等	主催か参加か調整中	

【担当圏域の地区課題】

- ①あんしんケアセンター事業、介護予防、フレイル予防などの周知、理解が不足している。
- ②あんしんケアセンターで受け止めた相談や地区踏査で明らかになった課題を分析する。
- ③あんしんケアセンターにれの木台内で受け付ける相談数に地域差がある。
- ④坂道等も多くセンターまでのアクセスも課題と言える。URにれの木台団地周辺や宮野木台1丁目、西小中台付近を中心に坂道が多い。また、5階以下の団地においてはエレベーターの設置がされていない。病気等で少しでも足腰が弱まると外出できなくなり、閉じこもり傾向から廃用症候群が進み、買い物等ができなくなり生活が継続困難になる事案も複数ある。
- ⑤圏域内の団体、関係機関との関係構築を深める。

【活動方針（総合）】

- ①あんしんケアセンター事業の周知活動を継続する。
- ②個別支援や地区踏査とおし地域課題を分析する。分析した課題を関係機関との間で共有し解決方法を検討する。その際、地域ケア会議を有効な活用を目指す。
- ③昨年から実施している西小中台やにれの木台の健康教室後の出張相談会の他、畑コミサロン開催時に出張相談会を開催する。
- ④昨年度の自立促進ケア会議から取り組んでいる地域課題であり、千葉市リハビリテーション活動支援事業とも協働し、坂道や階段の歩き方講座等を開催する。その他、坂道や階段がある事をメリットとして捉えられるような働きかけ（リーフレットづくり等）を企画する。
- ⑤圏域内の団体、関係機関を対象にした研修会の企画、運営を目指す。

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和8年度）

あんしんケアセンター花見川

【今年度目標計画】

	分野	活動名	主な内容	頻度	連携先	センターの役割	重点取組み
1	地域の機関・団体等との連携	第211地区、第212地区、第213地区民生委員・児童委員会議	3地区の民児協会議に参加して、民生委員の活動やあんしんケアセンターに寄せられる相談内容等を共有	年14回	第211地区、第212地区、第213地区民児協	連携強化	
2	地域の機関・団体等との連携	花見川団地地域ケア会議	花見川団地の「今」と「10年後」と「20年後」の未来を見据えてをテーマに参画者と団地の課題を共有して、できる取り組みを実行していく会議	年3回	UR千葉住まいセンター 花見川団地自治会 花見川住宅自治会 第212地区民児協 第213地区民児協 千葉市都市政策課 社会福祉協議会花見川区事務所 良品計画等	主催	
3	地域の機関・団体	天戸地域運営委員会	天戸中学校区町内自治会連絡協	年5～6回	天戸中学校区地区連絡 天戸中学校区育成委員会	共催	◎
4	地域での支援体制構築	柏井1地区地域ケア会議	柏井1の地域の課題の洗い出しと解決に向けてどのような必要があるかを話し合う会議	年2回	岸太山自治会 柏井北自治会 八千代台パークハイブ自治会 211地区民児協 地区社協花見川地区部会 花見川公民館	主催	
5	地域での支援体制構築	花見川団地 介護と医療の連携会議	花見川団地とその周辺地域の高齢者の支援を行う専門職同士の顔の見える関係づくりの会議	年3回	幕張ケアマネ事務所 ちぐさクリニック えるさば訪問看護等	共催	
6	地域での支援体制構築	圏域のケアマネ交流会	地域について理解する事を目的としたケアマネ同士の交流会	年6回	圏域の居宅介護支援事業所	主催	
7	地域での支援体制構築	花見川区主任ケアマネの会	区内の主任ケアマネが集まり、地域資源について話し合う	年6回	花見川区あんしんケアセンター	共催	
8	地域での支援体制構築	多職種連携会議	医療・福祉・介護の連携を図る	年2回	花見川区あんしんケアセンター	共催	
9	学習の場や体験の場の創出	キッズ認知症サポーター養成講座	花見川区高齢障害支援課と共に小学校へ出向き講座を開催（今年は2コマ制にて声掛け訓練も実施予定）	年1回	花見川区高齢障害支援課	共催	
10	学習の場や体験の場の創出	エンディングノート作成のコース	花見川団地とその周辺地域	年1回	地域で活動されている行政書士	主催	
11	学習の場や体験の場の創出	任意後見・死後事務について	花見川団地とその周辺地域	年1回	千葉市成年後見支援センター	主催	
12	交流の場づくり	長作町南部地域の開拓	長作町の南部には活動拠点がいないことから、長作町内会と交流の場作りの検討を進める。	年数回	長作町内会 花見川区社会福祉協議会 花見川区健康課 212地区民児協等	主催	
13	交流の場づくり	楽々体操教室	介護予防運動	月2回	地域住民	主催	
14	交流の場づくり	シニアリーダー花見川・長作・co-op花見川・東急	シニアリーダー体操	各月1回参加	シニアリーダー	後方支援	
15	交流の場づくり	ストレッチ体操	介護予防運動	3か月ごと	地域住民	後方支援	
16	交流の場づくり	健康フェスティバル	生活相談	年2回	花見川いきいきセンター	共催	
17	学習の場や体験の場の創出	いきいき活動手帳活用講座	いき活手帳の使い方を学ぶ場と、体力測定会を実施	年2回		主催	
18	交流の場づくり	はなカフェ	認知症カフェ	月1回	さくら咲く花見川 ガーデンコート花島 雑賀居宅介護支援事業所 あんしんホーム等	共催	
19	交流の場づくり	地蔵作サロン	高齢者サロン	月1回	長作町内会地蔵作エリア	後方支援	
20	交流の場づくり	センター前ラジオ体操	介護予防運動と交流の場	月～金		主催	
21	交流の場づくり	ふれあい喫茶花見川・作新台。やよい	交流の場	月1回	社協地区部会	後方支援	

【担当圏域の地区課題】

①地区概要：花見川団地を中心に隣接する作新台、柏井1丁目、長作台地区は、圏域総人口の約7割が居住している。花島町、天戸町、長作町地区は、いずれも古くからある農村地域であるが、長作町は戸建て新築が増えている。

②地区課題：花見川団地は、圏域中で最も高い高齢化率（平均で42.7%※令和7年12月末状況）で、相談件数も全体の約半数以上を占める。身寄りのない方、経済的困窮、認知症や精神疾患、家族関係の問題、権利擁護等、複合的な問題を抱えるケースが増えており、安否確認、医療や成年後見制度につなげる必要のある相談が多い。また、外国人が自治会のルールを守らない等の相談もある。

地域を支える支援団体や民生委員等の高齢化が進み、後任探しや欠員状況が続き、支援の担い手不足の課題は、全圏域において同様の状況である。

地域資源に関しては、花見川団地やその周辺地域では、商業施設・交通機関も発展し、生活しやすい環境にある。一方、農村地域では、商業施設が少なく、交通手段も限られており、車を手放すと買い物にも不便をきたす。また、団地に比べ、家族の支援・協力などは見込める世帯があるが、近所同士の支え合いについては他の圏域と同様に希薄化している。

【活動方針（総合）】

方針：地域住民や地域団体、機関、サービス事業所等と見守りの効いた地域づくりを進める。

ポイント：地域ケア会議や地域運営委員会を通じて課題の洗い出しと共有を進め、生活支援コーディネーターや他機関と共同して地域活動の充実を図る。

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和8年度）

あんしんケアセンターさつきが丘

【今年度目標計画】

	分野	活動名	主な内容	頻度	連携先	センターの役割	重点取組み
1	居場所・仲間づくり	エンジョイさつきが丘	居場所づくり・介護予防	年3回		主催	◎
2	交流の場づくり	ガーデンコートさつきが丘花壇ボランティア	グループホームと地域の住民との橋渡し	月1回	ガーデンコートさつきが丘	後方支援	
3	人材発掘・育成	地域密着型サービス運営推進会議	会議の参加	月2～3事業所	各密着型サービス事業所	後方支援	
4	人材発掘・育成	花見川いきいきプラザ声かけ訓練	高齢者見守り訓練	年2回	花見川いきいきプラザ	共催	
5	人材発掘・育成	シニアリーダーの養成講座の通知	各通いの場の訪問時にチラシ配布	月3回	各活動・サロン	後方支援	
6	人材発掘・育成	自然観察教室	地域住民の強みを活かした役割支援	年1回		主催	
7	地域福祉情報の発信	健康フェスティバル	高齢者への相談会	年3回	花見川いきいきプラザ・さつきが丘いきいきセンター	共催	
8	地域福祉情報の発信	地域の通いの場の訪問	通いの場の訪問時に情報発信	月5～6回	各活動・サロン	後方支援	
9	学習の場や体験の場の創出	出張講座	各活動での出張講座	年4回	各活動・サロン・URさつきが丘	共催	
10	学習の場や体験の場の創出	認知症サポーター養成講座	認知症に関する普及啓発	年2回	地区部会・花見川いきいきプラザ	講師	
11	防犯活動	消費者被害対策の普及啓発	各活動でのチラシ配布・講話	月2～3回	各活動・サロン	講師	
12	防犯活動	消費者被害に関する出張講座	消費者被害の勉強会	年1回	各活動・サロン	講師	◎
13	災害への備え	非常訓練	事業所内の啓発と発電機の運用	月1回		主催	
14	災害への備え	安否確認リストの確認	安否確認リストの確認と更新	月1回～3月に1回		主催	
15	災害への備え	BCPの作成	BCPの確認と更新、及び委員会の活動と勉強会	年4回		主催	

【担当圏域の地区課題】

【活動方針（総合）】

1.相談件数が最も多いさつきが丘地区は、URさつきが丘団地在住の高齢者に関する相談が増え続けている。相談内容の特徴として、近年は経済的問題や身元保証人等の生活に苦慮している独居高齢者に対する相談が多く、支援が長期化する傾向である。また家族と同居していたとしても、支援を望まないケースも多い。 2.犢橋地区は、交通機関が不便であるが、独居高齢者を中心に車を所有していない世帯が多く、病院への通院などはタクシーを利用せざるを得ない状況である。また、地域の通いの場・交流の場に参加したい意向があっても、徒歩圏内にその場がなく、閉じこもりになる高齢者が見受けられる。 3.犢橋地区にて最も相談が多い千種町と、さつきが丘のセンターから最も距離の離れている三角町では、支援が必要とされる高齢者に対し、支援が行き届いてないことが、相談内容から伺われる。また、認知症等の独居高齢者に対する安否確認については、マンパワー等の関係から頻回訪問が難しいため、電話での安否確認にならざるを得ない。	1.相談が長期化しているケースに関して、地域の諸団体との連携の他、状況次第では行政機関と連携し、課題解決を図る。地域の諸団体については、民生委員と町内自治会との連携強化を図る。また、独居高齢者が住み慣れた地域にて長く生活できるよう、自宅訪問機会を増やして手厚い支援を提供する。 2.交通不便問題解決の一助となるよう、地域の通いの場・交流の場に参加できない高齢者に対しては、民生委員や町内自治会等と連携し、その場に参加できる体制を作る。また、犢橋地区のニーズを調査し、新たな地域資源の開発を検討する。 3.今年度は千種町・三角町の1部を含む「こてはしマイタウン自治会」地域をを重点的活動地区とし、地域及び高齢者の課題抽出、それに伴う支援策検討を兼ねた地域ケア会議の開催等、課題解決に向けた役割の一旦を担う。
---	---

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和8年度）

あんしんケアセンター花園

【今年度目標計画】

	分野	活動名	主な内容	頻度	連携先	センターの役割	重点取組み
1	居場所・仲間づくり	シニアリーダー体操 検見川5丁目自治会館	運営支援・いきいき活動手帳 の利用支援・情報発信	月1回	検見川5丁目自治会	後方支援	
2	居場所・仲間づくり	シニアリーダー体操 はなぞの健康会館	運営支援・いきいき活動手帳 の利用支援・情報発信	月1回		後方支援	
3	居場所・仲間づくり	ふれあい昼食会	運営支援・いきいき活動手帳 の利用支援・情報発信	週1回		後方支援	
4	居場所・仲間づくり	花園ひふみクラブ	運営支援・出張講座・情報発信・相談	月1回	花園一二三会・社会福祉協議会花園地区部会	後方支援、講師手配、出張相談	
5	交流の場づくり	ふれあいサロンけみがわ	運営支援・出張講座・いきいき活動手帳の利用支援・相談	月1回	社会福祉協議会検見川地区部会	後方支援、講師手配、出張相談	
6	交流の場づくり	浪花町サロン	情報発信・相談	年2回	社会福祉協議会花園地区部会	後方支援	
7	交流の場づくり	花園みんなのカフェTOMO	運営支援・情報発信・相談	週1回＋月1～2回	花園みんなの居場所実行委員会	後方支援	
8	交流の場づくり	まちの談話室	運営支援・情報発信・相談	月1回	多世代交流拠点おなみこなみ	後方支援 出張相談	
9	地域での支援体制構築	地域ケア会議	地域課題の共有 周知イベントの開催	年2回		主催	
10	地域の機関・団体等との連携	民生委員との連携	民児協への参加 民生委員との連携	各年6回程度 (2か所)	201・202地区民児協	相談支援	
11	地域の機関・団体等との連携	運営推進会議	会議へ出席し、意見交換	各年2回（3か所）		参加	
12	人材発掘・育成	シニアリーダー養成講座への講師派遣	講師	年2回	シニアリーダー事務局	講師	
13	地域福祉情報の発信	広報誌の発行	情報発信	年4回		主催	
14	学習の場や体験の場の創出	昭和歌謡をエレクトーンと楽しもう！	介護予防・あんしんケアセンターの周知	年4回		主催	
15	学習の場や体験の場の創出	出張講座	地域の各種集まりでの講師	適宜		後方支援 講師・出張相談	◎
16	防犯活動	消費者被害防止への啓蒙活動	広報誌による注意喚起 各種集まりでの情報発信	適宜		出張講座	

【担当圏域の地区課題】

【活動方針（総合）】

昭和26年に新検見川駅が開業し昭和55年に南口にバスターミナルができる。昭和30年頃から花園地区・浪花町・朝日ヶ丘で、昭和40年頃から検見川町で急速に宅地化が進む。瑞穂は、平成8年に宅地化が進んだ比較的新しいまちではあるが、住民の高齢化が進んでいる。花園圏域には約3万4千人が暮らし、高齢化率は約22%、後期高齢者率は12%である。花見川区区内では高齢化率が比較的低いが、独居世帯や高齢者世帯も多い地区である。本人、家族、地域住民から、認知症に関する相談が増えてきている。今後、認知症に対する地域の理解が更に必要になってくると思われる。 南花園と朝日ヶ丘4丁目は坂が多く、検見川町や南花園は線路で分断されていることから、今後高齢化が進むにつれ、通院や買い物などの外出が課題となる可能性が高い。また、地域活動の場所はあるが、駅周辺の交通の便が良い地区に集中しており、移動手段が課題である。 80・50問題、ゴミ屋敷問題、生活困窮者、身寄りがいない、経済的問題、精神疾患等、複合的な問題を抱えた相談が増加しており、今後更に増えていくと考えられる。	・あんしんケアセンター花園の役割が正しく理解され、地域の身近な相談窓口となるよう、周知活動を行う。 ・地域の関係者と協力し、認知症や生活上の課題を抱える高齢者の早期発見を努める。 ・地域住民が住み慣れた地域で生活をするができるよう、地域の関係者や生活支援コーディネーターと連携を図り、地域課題の把握やインフォーマル資源の発信を行う。 ・様々な専門機関や介護支援専門員と連携し、多くの課題を抱えている方々の対応や解決が難しい課題の解決を目指す。
--	---

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和8年度）

あんしんケアセンター幕張

【今年度目標計画】

	分野	活動名	主な内容	頻度	連携先	センターの役割	重点取組み
1	交流の場づくり	たんぼば広場	交流・相談	月1回	民生児童委員協議会 地域住民	共催	◎
2	交流の場づくり	ふみこさん家	集いの場づくり・ボランティア育成・交流・相談	月2回	ふみこさん家	共催	◎
3	交流の場づくり	P O N O	コミュニティカフェ&ケアラズカフェ&認知症カフェ	月1回	社会福祉法人	共催	◎
4	地域での支援体制構築	地域ケア会議	個別地域ケア会議開催	月1回	自治会 老人会 地区社協 居宅等	主催	◎
5	地域の機関・団体等との連携	多職種連携会議	テーマを設定し多職種で一つの議題を話し合っていく	年2回	千葉医師会 各種専門職	後方支援	
6	地域の機関・団体等との連携	シニアリーダー体操	シニアリーダー体操の後方支援	月10回	シニアリーダー	後方支援	
7	地域の機関・団体等との連携	幕張ファミリーハイツささえあい会	定例会議出席 助言アドバイス相談交流	月1回	幕張ファミリーハイツささえあい会	後方支援	
8	地域の機関・団体等との連携	幕張シャルマンボランティア活動	定例会議出席 助言アドバイス相談交流	年3回	幕張シャルマン	後方支援	
9	地域の機関・団体等との連携	シニア寿会	相談 講師 交流 相談	年4回	シニア寿会	講師	
10	地域の機関・団体等との連携	民生児童委員協議会	相談 講師 交流 相談	年4回	民生児童委員協議会	相談支援	
11	人材発掘・育成	運営推進会議	運営の協議や取組の情報共有	月2回	千葉市保険福祉局 介護保険事業課	後方支援	
12	人材発掘・育成	S C の活用	資源の発掘、育成、マッチング	年20回	花見川区社会福祉協議会	出張相談	◎
13	地域福祉情報の発信	広報紙発行	広報誌を発行し掲示板や自治会に配布	隔月	自治会等	主催	◎
14	地域福祉情報の発信	まちかど相談	センターの周知や相談会	月1回	地域住民	出張相談	◎
15	地域福祉情報の発信	J R 幕張駅での相談会	センターの周知や相談会	年1回	健生病院友の会 J R 東日本	共催 出張相談会	
16	学習の場や体験の場の創出	自治会 老人会 地区社協 居宅 依頼に基づき相談会	依頼に基づいた学習会	年10回	自治会 老人会 地区社協 居宅等	出張相談	
17	学習の場や体験の場の創出	認知症サポーター養成講座	各種団体や小学校に認知症サポーター養成講座開催	年6回	自治会 老人会 地区社協 居宅等	出張相談	
18	防犯活動	消費者詐欺 特殊詐欺防止に対する注意喚起	広報誌や通いの場での注意喚起 ポスター掲示	毎月	自治会 老人会 地区社協 居宅等	主催	
19	災害への備え	B C P 作成・実践	B C P の更新、所内での訓練 ハザードマップの確認	年6回	千葉市保健福祉局 地域包括ケア推進	主催	
20	災害への備え	非常時訓練	携帯発電機の操作確認と試運転 利用者の安否確認リスト	毎月	地域住民	主催	

【担当圏域の地区課題】

JR幕張駅北口の区画整理と開発により、戸建て住宅や集合住宅が建築されている。住宅開発や整備とともに新たな路地が作られ、道路環境が大きく変化した地域もある。高齢者の中には、新たな道路環境の把握と認識に時間がかかり、自宅近隣でも現在地に戸惑う場面がある。子育て世代や学生等の転入者は多く、自治会への新規加入は一定数あるものの、役員交代や運営への協力には課題が多い状況が続いている。

圏域内はバスの路線も本数も少ないため、駅周辺以外の住民は自家用車を移動手段にしている方が多い。徒歩可能な圏域に店舗がなく、移動スーパーを招致する地域もあるが、集客や売り上げなど販売側の理由で撤退となる場所もある。食料・日用品の確保に不便や困難を抱えている高齢者は少なくない。

単身者や高齢夫婦世帯において、近親者が不在もしくは疎遠になっている方々に関する相談は多い。担当圏域内での特殊詐欺事件の未遂や詐欺を疑う内容の話を伺うこともある。防犯意識の強さと被害に対する心配や不安から、過度に他者を回避する心理状態になってしまう方もおり、日常の緩やかな顔のつながりが希薄になりがちである。活動や交流の範囲縮小により、フレイル進行や病状悪化を招きやすい。機能低下や認識の変化により、結果的に、セルフネグレクトや世帯として孤立してしまった方々の相談は、事態が極めて悪化してから発見につながる場合もある。

【活動方針（総合）】

- 1.集うことのできる場所を活用し、参加者間の顔なじみの関係を広げる。
- 2.生活相談窓口である当センターの存在を周知し、早期相談を呼びかける。
- 3.相談対象者の意思決定支援を大切に、権利侵害にならないよう対応する。
- 4.住民の同一相談が様々な窓口を巡り続けることのないよう、行政の各担当窓口、社協、生活支援コーディネーター等との情報共有や協働を意識する。